



水道橋畔発

Transmission from SUIDOUKYOUHAN

第 17 号 平成 24 年 12 月

新しい水道橋病院—改装は順調

副病院長 高野正行

これまでもお伝えしてまいりましたように、東京歯科大学水道橋病院の改装は今年 1 月の 1 階病院受付、医事課、薬局の運用開始に始まり、2 月には 2 階の総合診療室が開設されました。そしてこれに引き続き、6 月には 4 階口腔外科外来の改装が完了しました。また 7 月には 3 階の口腔インプラント科を含む高機能診療室が新設され運用を開始しています。さらに 8 月には内科外来が 5 階に移設されました。この間、病院エントランスに車寄せやバリアフリーの入り口が設置され、院内のエレベーターの新装、病室の改装、最新型の CT および CBCT の新設など、着々と患者様にとってより快適で安全な病院へと変貌して来ています。

今後の計画としては、眼科の外来の改修および手術室の新設、3 階の歯科診療室と消毒室の設置、4 階口腔外科手術室の改装工事などが進行しており、来春には一連の病院改装が完了し、次号では約 120 台の歯科ユニットと 3 部門の手術室、20 床の病室を有するその全体像をお知らせできることと思います。

大学移転は、すでにさいかち坂校舎で 1 年生の講義・実習が行われ、来春にはまた新入生を迎え入れます。そして 7 月には新校舎ビルの竣工、9 月には開校式が行われ、大学移転の第一期が完了する運びとなっております。水道橋病院は教育機関に付属する施設としてその機能を強化し臨床教育により強く携わってゆく役割も担っています。

このような時期に、われわれスタッフはより良質な医療サービスを提供するよう、一戸達也病院長のもと最大限の努力をして参りたいと思います。水道橋病院は歯科診療に関わるあらゆる専門分野の専門医が勤務しており、さらに先進的な眼科診療、内科診療を行っています。みなさまのニーズに最善の対応ができるよう今後も診療の充実を図ってまいりたいと思います。医療連携に

おいてはできる限り速やかに適切に対応できる体制を充実させてまいりたいと存じますので今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

新しくなった口腔外科診療室

口腔外科科長 高野正行

口腔外科では改装工事のため、本年 2 月から 2 階の総合診療室の一部を借りて診療していましたが、いよいよ 6 月に 4 階診療室の新装になり診療を開始しました。改装にあたっては床面積が拡張され、ユニットが 3 台増設されて計 17 台となりました。数は決して多くはありませんが、白とブラウン系を基調とした落ち着いた雰囲気の各ユニットはパーティションを介して余裕をもって機能的に配置されています。また個別に配置された 3 つのパーティションには医療ガスユニットを設置しモニター類を用いて歯科麻酔科との連携した治療も余裕をもって使える広さを確保しており、外来全身麻酔も可能な設備となっています。放射線画像システムにより、撮影したエックス線や CT 画像は直ちに各診療ユニットのモニターに配信され、画像処理も可能で、病状や治療方針の説明はその威力を発揮しています。診療室はバリアフリーでプライバシーにも配慮した構造となり



パーティションを介して配置したユニット



医療ガスユニットを
配備したチェアー

東京歯科大学水道橋病院の理念「思い遣りの心に依る医療」

患者様方には安心して受診していただいております。

当口腔外科では年間に 6,000 人を超える新患と延べ 35,000 人の再来、600 人以上の入院患者様を診療していますが、その半数以上は先生方からご紹介いただいた大切な患者様です。埋伏智歯の抜歯、有病者の観血処置、顎変形症、地域と連携した口腔がんの早期発見早期治療など、医療連携はわれわれにとって何よりも重点をおかねばならないことと心得ています。皆様のお力添えとご協力なしには診療の充実はなし得ません。より有効に利用していただけるよう医局員一同さらに努力して参りたいと存じます。ご紹介とともに、ご意見ご要望をお寄せいただき、さらなるご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

高度歯科医療センター・口腔インプラント科開設のご案内

口腔インプラント科科长 関根秀志

日頃より当院への患者さんのご紹介を多数頂戴し、心より御礼申し上げます。平成 13 年の口腔インプラント科開設以来、インプラント治療に関わる診療に従事させていただいておりますが、診療予約の取りづらさや診療期間などで患者さんはもとより、ご紹介元の先生方には様々にご迷惑をおかけいたしております。このたび当院では、安全・安心のインプラント治療を、複数の専門領域にまたがる包括的な医療サービスとして、快適かつよりスピーディーに実施するために「高度歯科医療センター・口腔インプラント科」を新たに開設いたしましたので、ご案内申し上げます。

あらたなセンターは、従来の口腔インプラント科と同じ、病院 3 階にございます。センターには、落ち着いた雰囲気の中待合を設けてございますので、3 階待合室から順次、お入りください。

診療室は、白山通りに面した大きな窓から光を取り入れ、白とピンクを基調とした明るい雰囲気となっております。5 台の診療チェアは個人情報の保護に留意し、コンパートメントに区切られた設計です。

インプラント埋入手術につきましては、これまで 4 階・第三手術室に出向いて実施しておりましたが、当センターにはこのほど本格的な手術室が整備されました。院内各科との連携も充実され、手術時の全身管理には、歯科麻酔科から専門医が派遣されるシステムといたしました。さらに、手術患者さん専用のリカバリールームに加え、トイレ、パウダールームを設け、患者さんの院内での移動を最小としていただくことが可能となっております。

同様に、当院 4 階の放射線科とは別に、歯科用 CT 撮影装置を含みますエックス線画像診断機器をセンター内に完備いたしました。センター内の各診療チェアサイドと相談室にはオンラインで接続されており、撮影させていただきました画像をすぐさま診断に用いることが可能となり、検査から診断・治療開始までがきわめてスムーズに進められる体制となりました。

インプラント治療に関しましては、昨今、芳しくない治療についての報道が目立つようになり、甚ではインプラント治療に関する患者さんが激減しているように伝え聞いております。一方、当科におきましては、新規のインプラント治療に加え、セカンドオピニオンやインプラントに関する不具合への対応など、診療の規模が拡大しております。対しまして当院では、総合歯科、口腔外科をはじめとする院内診療各科との連携をさらに強化し、「思い遣りの心に依る医療」に繋がる患者サービスの向上を図っております。引き続き、より親密な医療連携をお願いいたします。



中待合にいたる
センターの玄関口

最新の
画像診断機器



明るい雰囲気の
外来診療チェア

センター内に設置
された専用手術室



「新しくなった内科診療室」

内科科長 仁科牧子

平成24年8月から病院5階での内科外来の診療がスタート致しました。エレベーターで5階に上がると、大変ゆったりとした落ち着いた待合室、コンパクトながら独立した2つの診察室を設けており、快適に診察をお受けいただけるような環境になりました。

診療体制も月曜日から金曜日まで午前、午後の診療時間を設けています。一般内科では、歯科と関連が深い糖尿病や高血圧症といった生活習慣病から感染症、頭痛、腹痛などのcommon diseaseまで幅広い患者さまのニーズに合わせ診療しております。再診は主に予約制ですが、新患や急患には随時対応しています。健康診断やインフルエンザ予防接種も行っておりますので、是非ご利用ください。

専門外来としては、今までの禁煙外来、睡眠時無呼吸症候群の外来に加え、脳神経外科専門医による三叉神経痛などの痛み外来や循環器専門医による診療も行っております。

さらにこのたび内視鏡検査室を新設し、来年度のオープンを目指し準備を進めています。同時に最新の超音波診断装置も導入し、循環器、消化器系疾患の診断能力のさらなる向上を図って参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

診療受付時間（初・再診）

月～金 午前 9時から12時30分
午後 14時から16時30分
土（第4週） 午前 9時から12時

専門外来（初診は要予約 TEL：03-5275-1926）

禁煙外来 毎週 水曜日 午後
睡眠時無呼吸外来 毎週 水曜、金曜 午前 午後
痛み外来 第一金曜日 午前

※歯科麻酔科にて予約 TEL：03-5275-1851

担当医表

	午 前	午 後
月	林（一般内科・循環器）	林
火	仁科（一般内科・神経）	水野（一般内科・消化器）
水	仁科	仁科
木	扇野（一般内科・循環器）	西山（一般内科・循環器）
金	仁科	仁科
土(4週)	仁科	



落ち着いた雰囲気の内科待合室

「さいかち坂校舎」開校

第1学年副主任 久保周平

本学では創立120周年記念事業として大学機能の水道橋移転計画が進められています。この一環として、平成24年3月17日（土）、神田駿河台2丁目に「さいかち坂校舎」の竣工式が執り行われ、4月1日（日）には、今年度本学に入学した学生を迎え、オリエンテーションが行われ、4月9日（月）からは講義が始まっています。

さいかち坂校舎は地下1階、地上8階からなり、各階には、最新機能を備えた講義室、実習室、図書室、教員室、事務室並びにラウンジなどが配置されています。また階段やトイレは利用者がいることを感知して自動的に照明が点灯し、エコにも配慮した校舎となっています。

今年度ここで学ぶ学生は、第1学年のみですが、すでに校舎内から学生の賑やかな声が聞こえ、来年度からは第1学年および第2学年の2学年の学生の講義が始まり、ますます賑やかさが増すものと思われます。

さいかち坂校舎は水道橋病院からJR中央線沿いの登り坂をお茶の水駅方面にゆっくりと歩いて約5分、ちょ



さいかち坂校舎全貌



さいかち坂校舎入り口

うど坂道を登り切ったところにあります。また御茶ノ水駅から歩いた場合も約5分程度で、多くの学生は登り坂のない御茶ノ水駅を利用しているようです。講義室などの窓から外を見ると遮る建物もなく視界が開け、中央線を挟み神田川を望み、その後方には東京ドームも間近に見えるという恵まれた環境にあります。

さいかち坂校舎のある神田駿河台はさいかち坂以外にも、男坂、女坂、小栗坂など名前がある坂道が数多くあり、それぞれの坂には坂名を刻んだ標識が路面に設置されています。1日の講義や実習に疲れた学生は、これらの坂を通り、神田駿河台近辺の散策を楽しんでいるものと思われます。

第10回東京歯科大学外科的矯正治療勉強会を開催

矯正歯科 内田悠志

平成24年7月12日(木)18時30分より水道橋校舎13階B教室において「第10回東京歯科大学外科的矯正治療勉強会」を開催しました。

今回は「顎変形症の診断 過去、現在、未来」をメインテーマとし、4講演を行ないました。最初に千葉病院口腔外科の村松恭太郎助教より「コンピューター支援外科を用いた手術について」と題し、医療画像のデジタル化や3次元CTを使用した実物大立体モデルなどの臨床応用について、現状および今後の展望について報告しました。2題目は千葉病院矯正歯科の立木千恵助教より「顔面非対称症例における診断」と題し、顔面非対称における3次元手術シミュレーションについて、その有用性が確認されているが十分に活用されていない実状を踏まえ、3次元分析の有用性、および軟組織変化の特徴について報告しました。3題目は市川総合病院歯科・口腔外科の有坂岳大助教より「安全な外科的矯正を行うための検査」と題し、矯正治療前における全身の検査の必要性について、全身麻酔や周術期のリスクを予測し、また手術直後の気道閉塞の予測、術後の睡眠時無呼吸症候群の発生を回避し安全に治療を行うために必要な検査であると解説しました。最後に、水道橋病院口腔外科高久勇一朗講師より「顎骨延長術を応用した症例の診断と治療」と題し、通常の骨切りでは困難な症例でも顎骨延長術では良好な結果を得られるが、そのために必要な骨延長器は患者負担が大きいという問題点を踏まえ、水道橋病院口腔外科にて3Dモデルや、より患者負担の少ない新たなデバイスを用い、治療を行なった症例について提示しました。

全体として顎変形症の診断における現状の問題点、お

よび新たな技術の活用法について報告があり、より良好な治療結果のために活発な討議がなされました。しかしながら保険適用のために、技術面と費用面との間で生じる新たな問題点など、今後の課題についても様々な意見交換がなされ、大変有意義な勉強会となりました。

次回は平成25年2月7日(木)の開催が予定されており、メインテーマは「外科的矯正における補助手術の診断・治療・予後」です。会場が従来の水道橋病院13階から東京ステーションカンファレンス(東京駅八重洲北口)に変更となりましたのでご注意ください。参加ご希望の方は、水道橋病院口腔外科の笠原か、矯正歯科の片田(E-mail: gekakyousei@tdc.ac.jp)までご連絡下さい。

年末年始の診療について

年末は12月28日(金)まで平常に診療いたします。年始は1月5日(土)より診療開始です。なお休診中は、本院へ通院中の患者さまに対してのみの緊急オンコール態勢となりますので、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

※患者さまには各科の直通電話番号をお知らせ下さいますようお願いいたします。

東京歯科大学水道橋病院 直通電話番号(各科受付)一覧	
総合歯科	03-5275-1721~2
口腔インプラント科	03-5275-1760
小児歯科	03-5275-1723
障がい者歯科	03-5275-1723
矯正歯科	03-5275-1724
口腔外科	03-5275-1725
歯科麻酔科	03-5275-1851
眼科	03-5275-1856
内科	03-5275-1926
放射線科	03-5275-1953
FAX(各科共通)	03-3262-3420

水道橋病院 診療案内	
初診受付	平日、土曜とも 午前9時から午前11時
診療時間	平日 午前9時から午後5時 土曜 午前9時から午後12時
休診日	第2土曜、日曜、祝日、 本学創立記念日(2月12日)、年末年始

水道橋畔発編集委員

編集委員長 片田英憲

編集委員 大多和由美、高野正行、古澤成博、
山下秀一郎、仁科牧子、関根秀志、
上島文江、小林友忠、藤倉隆行